

# 福山和人さんと 要求懇談会ひらく

## 11月1日

要求実現にむけ「福山和人さん」との懇談会を実施

「くらし。ここから京都再生」「政党推薦は受けずに無所属・市民派としてたたかう」「行財政改革をすすめるか、止めるかが問われている。ここから始める」

来年、2月4日に投票の京都市長選挙に立候補表明されている福山和人さんと府本部執行委員会の要求懇談会を11月1日教文センターで実施しました。



府本部は既に福山和人さんの推薦を決め「福ちゃんを市長に！年金の会」を立ち上げ、市長選挙での私たちの要求も明らかにして、要求実現に向けて勝利をめざして運動をすすめています。

山本委員長から私たちの掲げる要求を説明されたあと、福山さんは、この1か月間、自転車で京都の街を走り訴え、要求を聞いてきたと話され、京都市長選挙に臨む基本的立場を「政党推薦は受けずに無所属・市民派としてたたかう」こと、娘さんから、今の若い人によくない言葉はいらない、「くらし。ここから京都再生」で充分伝わるとのアドバイスを受けたこと、「行財政改革をすすめるか、止めるかが問われている。ここから始める」と決意を述べられました。

各地域の要求も出されました。西京からは「区外へ出ていく人が多いが、交通問題だ」「高さ規制を緩和して高い建物をつくろうとしている」「芸大の跡地活用を住民の声を聞いてすすめて欲しい」、南からは「北陸新幹線が南区通過する。地下14mを通る。

今、ポーリング調査がすすんでいる」「西大路駅のエレベーター設置問題」「北上地域からも「新幹線問題」、 「低所得者への市民税減免制度の廃止を中止してほしい」等の要求が出されました。

福山さんは、10月31日に発表した重点政策（第1次）にほとんど出されていますとしながら、各地域から出された要求には、ひとつひとつ丁寧に思いを語られました。懇談会には、女性部が作成したタスペトリーが披露されました。

### 秋の府市民総行動 年金者組合は 早朝からすべての 行動に参加

京都府に「補聴器購入時の助成問題」要請  
京都市に「敬老乗車証制度を元に戻せ」要請

秋の府市民総行動は、10月30日早朝から午後にかけて府庁前、市役所前で府民・市民



の要求を掲げて大きな声をあげました。

市役所前で行われた早朝宣伝では、敬老乗車証を元に戻せと山本委員長が訴え、昼休み市役所前宣伝行動では、補聴器購入時の助成問題で粟倉副委員長が訴えました。昼休みデモにも参加し大きな声で要求実現を府市民に届けました。

京都府との要求懇談会で、補聴器購入時の助成を京都府に迫りましたが、現状では、

府は「独自制度」を導入する気は全くありません。今後、繰り返し声をあげていくことが必要です。



年金者組合新春観劇会  
2024年1月10日・11日 午後15:30開演 京都府立劇場

2024.2.4  
京都市長選

## 福ちゃん勝利 年金者 決起集会

12月4日(月) 13:30  
ラポール京都大ホール

- ・福山さんの訴え
- ・各支部よりリレーアピール

主催：福ちゃんを市長に！  
年金の会（年金者組合京都府本部）



わち山野草の森めぐり

現在46名の組合員で、京丹波町と南丹市(美山町を除く)の旧船井郡のエリアを基盤に活動しています。うち女性は19人(41%)おられます。地域が広いので1カ所に集まるのは難しく、役員会で企画した行事とサークル行事の2本

コロナでサークル活動

### 支部紹介⑱船井支部

厳しい状況乗り越え  
楽しく元気な活動  
めざし奮闘

毎月19日戦争法反対行動提起

立ててやってきました。常任役員は4人(他に会計監査2人)と少数ですが、何とかがんばっています。

ここ3年ほどはコロナ禍で行事はできず、サークル活動も短歌サークルのみ毎月実施されてきました。5名のメンバーで月1回集まり、作品について交流をされ、京都年金者しんぶんなどにも掲載してもらっています。

#### 山野草の会活動始める

ハイキングや写真サークルは中止してきました。園部地域での毎月19日の戦争法案反対9条アクション行動には参加し、プラカードスタンディングやトークリークレーン宣伝をしています。

本年より行事も再開し、6月8日に1番北になる和知町で「わち山野草の森」の散策をガイド付きで実施し、見ごろのササユリや他の花を楽しみました。その後会食交流を13名で行い、会員の思いや生活について楽しい交流が久しぶりにでき、好評でした。また今後の要望もお聞きし、



グランドゴルフ交流

また活動に生かしていきたいと思っています。

#### 楽しく元気な活動めざす

10月25日には瑞穂町でグラウンドゴルフ交流行事を9名の参加で楽しく実施しました。次は「歌声もしたい」という声も出ています。高齢で参加しにくい組合員もあり、つながりを大切にしていきたいと思っています。

他支部の活動に学びながら、楽しく元気で、役立つ年金者組合活動を目指して、様々な活動に取り組みたいと考えています。

(報告者：麻田育良書記長)

### ワンショット

いまだに生態が謎だらけのミゾゴイ  
日本で繁殖するが世界で1000羽以下

ペリカン目サギ科



1980年代以降、生息数が激減し、現在の生息数は世界で1,000羽以下と推定され、絶滅危惧種に分類されているミゾゴイ。フィリピンなどで生息し4月に日本に渡ってきて繁殖する。日本での繁殖数も里山の減少とともに急速に減っており、このままでは絶滅する危険があるといわれています。そのミゾゴイが都市公園にやってきて、もう一か月経過しました。ミズなどの餌を獲っているようですが、ミゾゴイの生

体は謎だらけであり知られてないらしい。

ときには木の上に止まったり草地を歩いたり、している所を発見されたのが始まりで、いまだに滞在しており、関西各地から訪れるカメラマンが後をたたない。風貌はおっとりして見えるが、人気があるというか貴重な存在であり、一目会いたいという思いが強いのだろう。(浜)

京都年金者文芸



俳句

曼殊沙華命燃やして飛鳥路へ  
よたよたと身重の蟻歩歩きをり  
菜箸をトングにかえて秋刀魚焼く

須田 千恵  
波部万智子  
上林 花子

以上舞鶴年金者しんぶん

来めば行く老ともだちや秋彼岸  
真夏日の水平線に船もなし  
なにもせず過ぎる一日ねこじゃらし

花野 玲子  
野末たけのり  
中村美沙子

以上宇治・久御山ねんきん

敬老日聴衆の中に妣探す  
月白やイントロめかす舞台裏  
新酒酌む風の通りに我が身置き

大野ひろみ  
中野 範子  
中野 忠樹

以上北桑田支部

秋灯や無人改札切符入  
満月と知らせ来る兄九十一  
どんぐりの一つ転がる洗濯機

富美  
実千枝  
登代子

以上舞鶴年金者しんぶん

秋入りて遠くに聞こゆ貨車の音  
待ちかねて彼岸花さく日和かな  
秋軋む博物館の板廊下

堀 昭子  
大槻美千代  
竹中 龍平

以上これからだ(福知山)

川面ゆく二羽のあひるよ恋仲か  
指先に五官しならせ風の盆

大畑 輝子  
宇野 正巳

以上ねんきん城陽

秋高し阪神優勝神秘方妙  
コウロギや風呂場に迷いゆるりの湯  
鱗雲心折れるなデニー知事

中西 實  
山田 フサ  
伊藤 哲英

以上ひがしやま(東山)

秋晴れや妊婦が二人立ち話  
百日紅百日こえて咲きてをり

広田浩三(下京)  
山本拓治(西京)



短歌

つえついで八十路の道宇治川の  
秋の思い出の中吊橋渡る  
照りつける陽ざしの中を急ぐ吾に  
あいさつくれる笑顔の少女

宇治川太郎  
福永真理子

以上宇治・久御山ねんきん

夏いろの雲まだ残る九月半ば「ノースリーブ  
だよね」朝の着替えず  
里に行き母と過ごした帰り道  
澄んだ夜空に大き満月

大由里千代野  
真下 洋子

抜かれても曾孫淡々マイペースかけっこ  
ニコニコ無事ゴールイン

山口 至江

以上舞鶴年金者しんぶん

車窓にみゆ保津の川波ゆったりと  
はたまた岩かみしぶきをあげる  
出揃いし早稲田の稲の穂を  
埋めて白く小さき花の咲く昼

谷喜久子  
俣野 右内

以上船井丹雲の会

唐櫃越え喘ぎあえいでみずき山  
S字の保津峡眼下に眺め  
ギター持ちねんきんの仲間来てくれし  
病の夫は涙こぼしぬ

大橋歳彦(西京)  
堀千恵子(城陽)

朗々と川中島を吟ずるは  
九十三歳豊饒として

有吉節子(左京)



川 柳・自由句

柿食ても何も聞こえんニュータウン  
あの人の心の柿よ癒される

たかね  
一美

以上年輪西京

買い物に手を出しかねてため息が  
改造も期待がもてず支持低下

おおえやま(向日)  
木村博義(綴喜)

趣味の紹介

ハロウィン 楽しみ



長岡京支部 西川好子さん



長岡京支部 浦崎安江さん



亀岡支部 大根幸子さん





10月下旬の真っ青な空が広がる日に、宇治田原町にお住いの山本さんご夫妻のご自宅をお訪ねしました。昔ながらの農家の土間に入れていたただくと、壁にも床の間にもテーブルの上にも千代紙で折った大小の連鶴がいっぱい。くちばしや羽の先が繋がった連

# 自宅いっぱい連鶴 夫婦で楽しむ

## 機関紙担当も楽しも 支部サークルの講師も

### 千羽鶴も千匹亀も

鶴を「寿」「平和」という漢字に並べた平面的な作品や、5羽の鶴のおなかの部分が夕テにつながる「迦陵頻(かりょうびん)」など、百点以上が並んでいます。

「東山」という作品は暖色の15羽の羽根の部分がつながっていてなだらかな山の形をしており、「北山」は寒色の小さな55羽の連鶴が山をかたどっています。同じような作り方でも、色や大きさでずいぶん印象が違うことが分かります。鶴だけでなく亀も。お話を聞いている間に作っていただいた、鶴のくちばしと亀の口が繋がっているツルカメの作品は、千代紙の黒地に金色が入っていると



# 輝いて元気に

(綴喜支部)

やまもと ただし・やすこ

山本 精 さん 71歳  
泰子 さん 67歳

でも豪華だし、お祝い事にも使えそう。千羽鶴ならぬ千匹亀もありました。  
もともとは妻の泰子さんが「気軽にできる趣味を」と折り紙を始められました。当時は学童指導員もされていたので、子どもさんにも教えて喜ばれたそうです。そんな中、泰子さんに付き合っ



京、福岡から通う方、海外からも見学に訪れる方がありました

が、先生の体調悪化とコロナ禍のため3年前で終止符となりました。その後は何種類もの折紙の本を参考に、研究されています。綴喜支部の作品展や町の文化祭にも出展をされて、綴喜支部のサークルでも教えておられます。

精さんの本業は宇治田原町の町会議員で2期7年目です。「宇治田原町では3年前に幹部が収賄事件で逮捕され町長の任命責任が問われたが、翌年の町長選で46%まで票を獲得しながら勝てなかったのが残念」と悔しそう。  
年金者組合では書記次長として機関紙の編集責任者です。「月に一度の発行は大変」と言いながら、こちらの方は楽しそうです。



精さんと泰子さんはお2人ともとても穏やかで、折り紙が楽しくて仕方ないという雰囲気がいっぱいの方です。作品も素晴らしいはずだと思います。

(取材) 矢吹美根子  
西田美津子

連鶴を折るための和紙を見せていただきました。大きさは95センチ×65センチくらい、専門店で購入されています。これをどの部分をつなげるか考えて切り目をいれていき、破れないよう医療用テープで補強しておきます。昨年春はこままで準備していたものの、忙しかったり暑かったりして夏が過ぎ、秋になって再開したという作品は、1辺5センチの鶴がタテ18列、ヨコ12列の計216羽です。2時間ぐらい集中して作業されるときもあるとのこと。泰子さんはお話の最中にも手を動かし、あっとい